

10 日口地先沖合漁業交渉

日本とロシアとの間では、昭和 59 年 12 月に成立した「日ソ地先沖合漁業協定」に基づき、毎年、操業条件等について日口漁業委員会において協議が行われ、そこで妥結となった操業条件により、相手国 200 海里水域内に入漁しています。

令和 6 年の操業条件は、令和 5 年 11 月 27 日から 12 月 6 日までウェブ会議にて開催された日口漁業委員会第 40 回会議で妥結となりました。

なお、相互入漁の漁獲割当量は前年から 6,000 トン減の 44,000 トンとなり、令和 2 年から続く漁業協力費の中断についても継続することが決定しました。

(1) 合意内容

① ロシア 200 海里水域における日本漁船の操業条件等

ア. 相互入漁

区分	令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年
総漁獲割当量	90,000t	90,000t	75,000t	50,000t	44,000t
総隻数	592 隻	585 隻	585 隻	585 隻	585 隻
協力金	7 億 871 万円	0 円	0 円	0 円	0 円

<主な魚種別の漁獲割当量>

魚種	令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年
サンマ	70,927.4t	70,927.4t	56,424t	31,824t	25,824t
マダラ	810t	810t	1,600t	3,200t	3,200t
スルメイカ	5,814.25t	5,814.25t	5,619t	5,619t	5,619t
その他	12,448.35t	12,448.35t	11,357t	9,357t	9,357t
計	90,000t	90,000t	75,000t	50,000t	44,000t

イ. 有償入漁

区分	令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年
総漁獲割当量	1,062.2t	1,062.2t	694.66t	694.66t	694.66t
総隻数	22 隻	22 隻	22 隻	22 隻	22 隻
入漁料	令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年	2,694 万円

<主な魚種別の漁獲割当量>

魚種	令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年
サンマ	350t	350t	0t	0t	0t
マダラ	190t	190t	190t	190t	190t
スルメイカ	16t	16t	14t	14t	14t
その他	506.2t	506.2t	490.66t	490.66t	490.66t
計	1,062.2t	1,062.2t	694.66t	694.66t	694.66t

② 日本 200 海里水域におけるロシア漁船の操業条件等

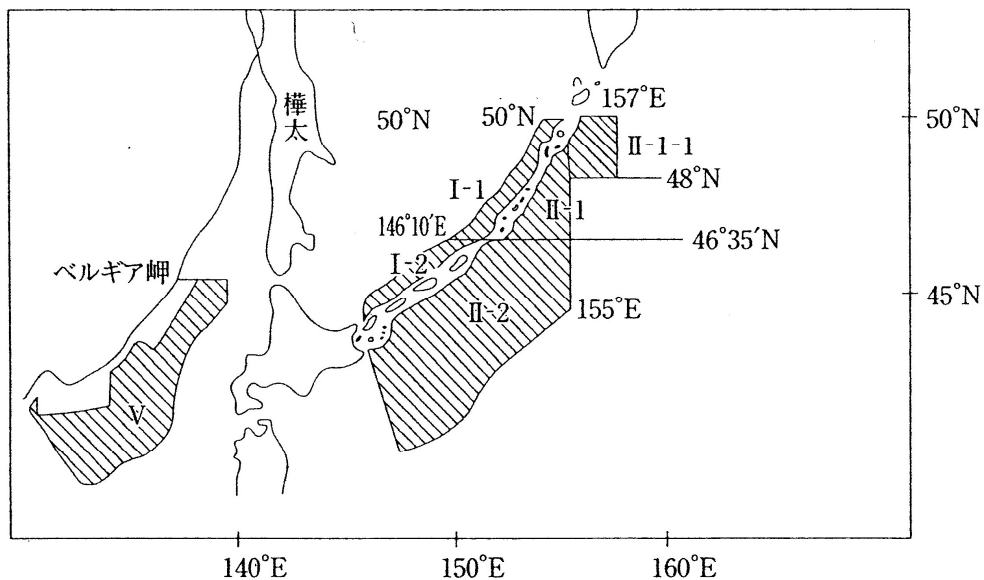
ア. 相互入漁

区分	令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年
総漁獲割当量	90,000t	90,000t	75,000t	50,000t	44,000t
総隻数	89 隻	89 隻	89 隻	89 隻	79 隻

<主な魚種別の漁獲割当量>

魚種	令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年
マイワシ	23,500t	23,500t	20,000t	8,000t	10,000t
サバ	51,500t	51,500t	45,000t	40,000t	32,000t
イトヒキダラ	15,000t	15,000t	10,000t	2,000t	2,000t
サンマ	—	—	—	—	—
計	90,000t	90,000t	75,000t	50,000t	44,000t

(2) 日ロ地先沖合漁業交渉操業海域図



I-1 区	千島(オホーツク海側北)	底はえ縄
I-2 区	千島(オホーツク海側南)	
II-1 区	千島(太平洋側北)	中層トロール、底はえ縄、棒受け網
II-1-1 区		中層トロール、着底トロール、底はえ縄
II-2 区	千島(太平洋側南)	底はえ縄、棒受け網
V 区	日本海	いか釣り

○有償入漁水域

II-2 区	千島(太平洋側南)	着底トロール、中層トロール
--------	-----------	---------------

資料: 北海道水産林務部

注: II-1、II-1-1 区の中層トロール・着底トロールは、遠洋底びき網

II-2 区の中層トロール・着底トロールは、沖合底びき網